

製品名: ILF3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84312**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 95 kDa ; Observed MW: 95,110 kDa

抗原情報

遺伝子名	ILF3
別名	CBTF; DRBF; MMP4; MPP4; NF90; NFAR; NF110; NF90a; NF90b; NFAR2;TCP80; DRBP76; NF110b; NFAR-1; TCP110; MPHOSPH4; NF-AT-90;;ILF3
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q12906
免疫原	ヒト ILF3 由来の合成ペプチド

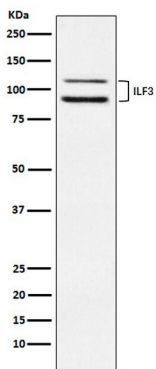
背景

転写後レベルで二本鎖 RNA 制御遺伝子発現を促進する可能性がある。酸性 β -グルコシダーゼ (GCCase) やその他の mRNA のコード配列に結合し、GCCase mRNA の翻訳開始段階で機能する翻訳阻害タンパク質として作用し、おそらくポリソームへの結合を阻害することによって機能する。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の ILF3 発現のウェスタンブロット分析。

すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。

